



編集・発行

社会福祉法人 茨城県社会福祉事業団

茨城県水戸市杉崎町 1460 番地  
電話 029-259-9666

E-mail: fukusi-j@atlas.plala.or.jp  
http://business2.plala.or.jp/fukusi-j/

- 県立あすなるの郷
- 県立児童センターこどもの城
- あすなる福祉サポートセンター

国営ひたち海浜公園  
(ひたちなか市)

## 事務局長あいさつ



茨城県社会福祉事業団  
事務局長 長島 卓也

茨城県社会福祉事業団事務局長に就任して、3年が経過しました。

この間、自主事業である相談支援事業、就労継続支援事業及びグループホーム事業について、サービスの一元化を図るため、移転・統合の準備を進めてまいりました。就労継続支援事業所として借りていた建物の老朽化が著しく、またグループホームから遠く不便であるなどの課題がありました。このため、事業所を水戸市内に移転し、自主事業を統合する計画にしたもので、建主様のご協力を得て4月1日から「福祉サポートセンターあすなる」として開設の運びとなりました。

また、利用者の重度化・高齢化に対応するため、生活介護を追加して多機能型事業所としました。円滑な事業運営を行い、利用者の利便性の向上に努めてまいりたいと考えております。

障害者支援施設「県立あすなるの郷」については、平成18年度に指定管理者制度に移行して10年が経過しましたが、民間施設では支援困難な重度の障害者の専門的支援を行い、セーフティネットの役割を果たしながら、県の財政的関与の縮

減にも取り組んでまいりました。

しかしながら、開所後43年が経過し、施設の老朽化等の課題が生じております。県におきましては、昨年、県立あすなるの郷の老朽化等の課題につき、建て替えを前提に、今後のあり方について検討するため、「県立あすなるの郷検討委員会」を設置しました。9月の第1回委員会以来、既に4回開催し、熱心に議論されているところでございます。

平成29年度前半に、報告書を取りまとめる予定で進められていますので、事業団としても、現場職員からの意見や提案のとりまとめ等、施設を運営する立場から積極的に協力して行くこととしております。

一方、サービス提供の面では、現在、あすなるの郷開設時に採用になった職員の多くが定年を迎えており、将来を担う人材に対し、職務上必要な専門的知識や技術を継承していくとともに、さらなる資質向上や意識改革が必要になっております。

このため、中堅職員を対象に、リーダーシップやマネジメント能力の習得を目的として年間を通した「次世代育成研修」の実施やスキルアップの向上を図っております。

当事業団としては、今後とも、職員一丸となって、利用者のサービス向上や地域のニーズに対応してまいりますので、引き続き皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 平成29年度事業計画

## Ⅰ 事業運営の基本的な考え方

当事業団においては、「第2次中期経営計画（平成26年度から平成30年度）」に基づき、効果的・効率的な経営を推進しているところである。

「本部事務局」においては、引き続き事務の効率化・合理化を進めるほか、次世代を担う職員への計画的な育成を図る。

「茨城県立あすなろの郷」においては、県立施設の指定管理者として引き続き重度障害者のセルフインターネットの役割を果たしていくとともに、利用者への人権擁護意識を徹底し、それぞれの個性にふさわしい生活が送れるよう更なるサービスの質の向上を図る。

「茨城県立児童センター」については、イベント等を積極的に開催し、利用者数を確保することで安定した経営が図れるよう取り組んでいく。

また、本年4月に開設する「福祉サポーターあすなろ」については、円滑に事業を展開し利用者の利便性の向上を図る。

なお、事業運営にあたっては、役職員一人ひとりがコンプライアンスの徹底を図る。

## Ⅱ 事業所別の事業計画

### 1 本部事務局

**1 運営方針**  
本部事務局については、引き続き事務の効率化、合理化を図り適正運営に努めるとともに、職員の資質向上を図るための研修を充実させる。

「茨城県立あすなろの郷」及び「茨城県立児童センター」こともの城」については、指定管理者として、基本協定に基づく運営を確実に実行するとともに、より効果的・効率的な事業展開が図れるよう指導する。

自主事業については、サービスの二元化を図るため、本年4月に開設する「福祉サポーターあすなろ」について、事業間の調整を図りながら安定した運営ができるよう指導する。

また、「第2次中期経営計画」に基づき設置した「事業団経営委員会」において、各事業所における事務事業の進行管理等を行う。

**(2) 主な事務事業**  
ア 指定管理者としての施設の管理運営  
ア 茨城県立あすなろの郷  
イ 経営の効率化・合理化  
イ 第2次中期経営計画の遂行  
イ コンプライアンスの徹底  
イ 各種研修の実施  
**(3) 福祉サポーターあすなろの経営（自主事業）**  
従来の就労継続支援B型に生活介護を加えた多機能型事業、相談支援事業及びグループホーム事業の3事業を統合した「福祉サポーターあすなろ」について、事業間の調整を図りながら安定した運営に努める。

**(4) その他の事業**  
ア 社会福祉事業振興資金の運営  
イ 岡崎基金研修事業

**2 茨城県立あすなろの郷**  
**(1) 運営方針**  
茨城県から指定管理を受けた「茨城県立あすなろの郷」（障害者支援施設、病院、医療型障害児入所施設、療養介護事業所、地域生活支援センター等）を効果的・効果的に運営し、利用者一人ひとりのニーズを把握した個別支援プログラムに基づき

支援サービスの充実に努めるとともに、地域（在宅）の知的障害児・者の生活を支援するため、引き続きニーズに沿ったサービスの提供を行う。また、ノーマライゼーションの理念に基づき、利用者の意思を尊重した地域での生活を実現するため支援の充実を図る。

【施設の種別と入所定員 502人】  
障害者支援施設 462人  
医療型障害児入所施設、療養介護事業所 40人

**(2) 主な実施事業**  
ア 障害者支援施設の管理運営  
イ 施設利用者の受入  
イ 知的障害者の自立促進  
イ 行動障害を持つ方に対する支援の実践と民間施設等への支援  
イ 高齢・高介護者のための支援  
イ 触法障害者の自立支援に向けた協力と連携  
イ 病院、医療型障害児入所施設、療養介護事業所、多機能型児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所の管理運営

利用者の健康管理  
重症心身障害児・者の療育  
在宅重症心身障害児・者の療育支援  
地域生活支援センターの管理運営  
在宅知的障害児・者の支援  
在宅支援機能の充実  
広報活動及び関係機関との連携強化  
地域生活移行の推進  
利用者の実態に合わせた地域生活移行を推進するためのPR及びニーズの調査  
あすなろホーム体験入居（日帰り・宿泊）  
利用者の実態に応じた地域生活移行を推進するため職員のスキルアップを図る。

職員育成  
職員の総合的な資質向上を図るため、業務や職務に応じた階層別研修を実施する。また、強度行動障害者及び高齢・高介護者支援の専門性を高めるため、積極的に外部研修に参加し、その研修内容を伝達することにより職員の資質の向上を図る。

カ 実習及び研修の受入  
福祉の専門職を育成する大学及び専門学校の実習を受け入れるとともに、茨城県警察学校等の福祉体験研修を積極的に受け入れる。

キ その他  
高齢・高介護者、強度行動障害者等に対する支援のあり方及び利用者の地域生活移行への推進を図るため、引き続きワーキンググループで検討を行う。

カ 自主事業  
・あすなろの郷売店事業  
・健全経営の確保  
・衛生管理の徹底による安全な商品の提供  
・地域生活移行を目指す利用者に対し、職場適応訓練を行う  
・実習場所の提供  
・売店運営委員会の開催による利用者のニーズに応えた運営

**3 茨城県立児童センターこともの城**  
**(1) 運営方針**  
茨城県の拠点的大型児童館として、海岸に隣接した恵まれた自然の中で子どもたちがのびのびと活動しながら共同生活を体験する場を提供するとともに、大洗町など県内市町村、NP

〇、ボランティア団体、関係機関等と連携しながら充実した運営を行い、児童の健全育成に努める。

また、利用者の多様なニーズに対応するため、実施プログラムの充実を図るとともに、これまで培ってきたノウハウや人的資源を活用し、利用者によって高いサービスを提供する。また、こともの城運営委員会を開催し、外部の意見を運営に活かすことで、更なるサービスの向上を図る。

さらに、県立大型児童館の役割として、茨城県児童館連絡協議会の運営を行い、研修会開催や情報提供などにより県内児童館の活動をサポートし、児童館活動の全体的な充実を図る。

なお、今年度から施設の老朽化に対応した県による大規模修繕工事が予定されていることから、県との協議を図りながら工事期間等を考慮した運営を行う。

【利用見込人員】  
宿泊利用者 10,000人  
キャンプ利用者 5,000人  
日帰り利用者 14,500人  
計 25,000人

**(2) 主な実施イベント**  
ア 児童が健全な遊びを通して協調性、創造性、忍耐力を高めるイベント  
イ こともの城あそび広場inこともの城  
イ キッズサマーキャンプ2017  
イ 家族キャンプ2017  
イ 対象1 児童を含む家族（10組40名程度）  
イ 対象2 未就学児のいる家族（10組40名程度）  
イ 県民の日&こともの城秋まつり  
イ クリスマスキャッスル2017  
イ チャレンジ体験inこともの城  
イ ボランティア養成講座  
イ ちびっこ体験教室inこともの城  
イ 子育てカフェinこともの城  
イ 指導者の育成及び養成のための研修会  
イ 放課後子どもプラン研修会  
イ こともの城運営委員会の開催  
イ 本年度実施するプログラム及びイベント内容の検討や地域との連携等を協議するため、年2回開催する。

**(4) 茨城県児童館連絡協議会事務局の運営**  
総会・役員会の開催、一般財団法人児童健全育成推進財団との共催による年4回の児童館等職員研修会の開催、機関誌「ひまわり」の発行等を行う。

**(3) こともの城運営委員会の開催**  
本年度実施するプログラム及びイベント内容の検討や地域との連携等を協議するため、年2回開催する。

**(1) 運営方針**  
自主事業である相談支援事業、多機能型事業及びグループホーム事業を一体的に運営し、利用者の重度化・高齢化というニーズに対応するなど地域生活を効果的にサポートする。

【所在地】茨城県水戸市赤尾町986番1  
【事業の種類】  
・相談支援事業  
・多機能型事業  
・就労継続支援B型 34人・生活介護（6人）  
・グループホーム事業 定員71人

**(2) 主な実施事業**  
ア 相談支援事業の実施  
イ 多機能型事業の経営  
イ 就労継続支援B型生活介護  
ウ グループホーム事業の経営

**4 福祉サポーターあすなろ**  
**(1) 運営方針**  
自主事業である相談支援事業、多機能型事業及びグループホーム事業を一体的に運営し、利用者の重度化・高齢化というニーズに対応するなど地域生活を効果的にサポートする。

**(2) 主な実施事業**  
ア 相談支援事業の実施  
イ 多機能型事業の経営  
イ 就労継続支援B型生活介護  
ウ グループホーム事業の経営



# 岡崎基金派遣研修

岡崎基金派遣研修は、茨城県立コロニーあすなるの初代病院長であった岡崎藤麿先生の御寄付により、職員が視野を広め資質の向上を図ることを目的として、昭和54年に始まりました。平成28年度は、先進施設の運営、処遇技術等を学ぶため、7名の職員を派遣しました。お世話になりました施設の皆様には心よりお礼申し上げます。

## 利用者の情緒安定に向けた支援

研修先 社会福祉法人佛子園 星が岡牧場

あざみ寮西ファミリィ 主任 皆川 石川 重夏

平成28年12月2日から6日の5日間、兵庫県能美市にある「社会福祉法人 佛子園 星が岡牧場」にて研修を受けさせて頂きました。星が岡牧場では、生活の中に本人が選択・決定出来る場面が多く設けられていました。また、星が岡牧場のみならず法人全体でPCPに取り組みがされていました。PCP（パートナー・セントラード・プランニング）とは本人を中心とした計画づくりで、生活において必要なもの、望むことを支援する方法です。利用者様の生活を充実、満足して頂けるものにするためにはとても有効な方法だと思いました。また、PCPを実践することにより、利用者様に対する理解も深まります。

法人内の他事業所においても今までの考え方や常識といったものが覆されるような取り組みがされており、とても驚いたのと同時に刺激を受けました。今回の研修により今までの支援方法や考え方等見直す機会となりました。現状に満足せず常に向上する意識を持ち、利用者様に対してはより一層生活の質を高められるような支援を提供していきたいと思えます。

地域生活支援センター在宅障害者への療育支援  
研修先 社会福祉法人高水福祉会  
北信圏域障害者総合相談支援センター  
ばれつと

地域生活支援センター 主任 宇留野 高嗣  
地域生活支援センターの事業の一つである障害児(者)地域療育等支援事業について、全国の中でもこの事業に先進的に取り組む、療育支援システム作りを成果を上げてきた長野県中野市にある北信圏域障害者総合相談支援センターばれつとで研修させて頂きました。

ばれつとにおける施設支援事業の職員は、地域資源(関係者及び機関)を最大限活用し、

関係者の療育支援技術のスキルアップにも貢献することで、対象となるお子さんへの適切な療育等支援事業を活用して、療育支援システムを構築する重要性と可能性について再確認することができました。

研修で学ばせて頂いたことを活かし、あすなるの郷の事業を通して地域の福祉向上に寄与していきたいと思えます。

## 重症心身障害者及び重度障害者のヘルピープ支援

研修先 社会福祉法人四天王寺福祉事業団 病院医務局 主任 原田 光明

四天王寺和らぎ苑

10月中旬の5日間、大阪府富田林市にある四天王寺和らぎ苑において重症心身障害児(者)に対する理学療法の研修に行かさせていただきました。この施設では重症心身障害児(者)に多い呼吸障害への取り組みが充実したものでした。その取り組みは呼吸障害や肺炎予防として気道粘膜除去装置であるカプアシストや肺内パーカッションベンチレーターを取り入れている現場を見ることができました。また姿勢管理に用いるポジショニング機器や座位保持装置などを見学し有益な情報を得ることができました。

この研修を通して、大変貴重な体験を得たことに感謝し、この研修で得た知識を基にあすなるの郷における理学療法業務に反映させていきたいと思えます。

## 身体拘束の軽減に向けた支援

研修先 社会福祉法人翠清福祉会 介護老人保健施設 ナーシングホームかたくり

うめ寮西ファミリィ 主任 小嶋 有紀

平成28年11月14日から5日間、水戸市河和田町にある介護老人保健施設、ナーシングホームかたくりにて研修を行い、身体拘束の軽減というテーマを軸にどのような取り組みがなされているのかを学ばせて頂きました。かたくりでは、一般に拘束と認識されそうな類のものを一切使用しておらず、介護士の

きめ細かなサービスと見守りにて対応して頂きました。何か問題が起きると、その利用者に対するアセスメントを行い、問題を正すのではなく、いかに問題の起きない状況や環境を作るかという視点にて全ての介護支援が成立している様子に感銘を受けました。

高齢者福祉と知的障害者福祉には若干の差があるとは思いますが、利用者個人を尊重する介護士たちのプロ意識の高さは非常に見習うべきものであり、大変有意義な研修となりました。

## 自閉症及び強度行動障害者への支援

研修先 社会福祉法人林檎の里 自閉症支援施設あおぞら

つばき寮東ファミリィ 主任 立原 雅人

11月21日から25日までの5日間、長野県上水内郡飯綱町にある社会福祉法人林檎の里自閉症支援施設あおぞらで研修をさせていただきました。研修先の利用者様は、ほとんどの方が自閉症の障害を有しています。そのため、TEACCHの考え方を基に構造化された支援が展開されており、そこに様々な配慮や工夫が見られました。居室等の生活空間や日中活動を行う作業室では、視覚化されたスケジュールを個別に使用し、一人ひとりのニーズに合わせて日課が送れるように支援していただきました。

今回の研修に派遣していただき、自閉症の障害を有する利用者様への支援について理解を深めるとともに、今後の支援に活かすための参考とすることができました。あすなるの郷の利用者様へより良い支援が提供できるよう、これからも研修を積んでいきたいと思えます。

## 高齢知的障害者への支援

研修先 社会福祉法人津山みのり学園 障害者支援施設ココロみのり

ゆり寮東ファミリィ 支援員 米澤 成章

私は、岡山県津山市にある社会福祉法人津山みのり学園に研修に行きました。津山みのり学園では、障害者支援施設のこころみのり

で3日間、特別養護老人ホームのサンライフみので2日間の計5日間研修させて頂きました。研修では、日常生活においては食事、排泄、入浴等の日常生活での介助・支援方法を学ぶ事ができました。その他にも津山みのり学園での理念やどのような研修を実施しているか等を聞かせて頂きとても参考になりました。今回の研修で学んだ事を利用者の支援に活かしていきたいと思えました。今後も、他の施設に研修に行く機会があれば行ってみたいと思えました。そして、他の職員の方にも行く機会があれば積極的に参加してもらいたいと思えました。

## 超重症心身障害児等への支援

研修先 社会福祉法人四天王寺福祉事業団 四天王寺和らぎ苑

ばら寮 主任 小林 めぐみ

「超重症心身障害児者の看護、支援体制、他職種間の連携」について学ぶことを目的に、「和らぎ苑」で研修をさせて頂きました。

看護基準や利用者との年齢層など「ばら寮」と同様の環境の中、食事、口腔ケアの工夫、呼吸ラウンドなど、利用者のQOL向上への取り組みが行われており、「利用者ファースト」を志しているというプロ意識の高さを感じました。また、看護師、他職種がそれぞれ高い知識を持ち専門性を生かした支援を行うとともに、様々な場面で「ほう・れん・そう」報告・連絡・相談が密に行われ、情報共有されていることを実感しました。今回、理学療法士と共に同一施設で研修を受けられたことは、他職種間の連携を学ぶにあたり大変有意義であり、利用者への看護、支援体制の向上に役立つ研修となりました。このような機会を与えて頂きありがとうございます。今回御世話になった施設に感謝するとともに研修に行かせて頂きありがとうございます。

事業団 ニュース

福祉サポートセンターあすなろ

平成29年4月に「福祉サポートセンターあすなろ」がイオン水戸内原ショッピングセンター近くの水戸市赤尾関町に開設します。1階が就労継続支援事業のためのスペース、2階が相談支援事業とグループホーム事業の事務所となります。



「福祉サポートセンターあすなろ」では、利用者の重度化・高齢化ニーズに対応し、地域での生活を効果的にサポートするため、就労継続支援事業について、現在の就労継続支援B型に生活介護を新たに加え、多機能事業所となっています。



職員表彰

多年にわたり社会福祉の発展に尽力された功績として、当事業団の職員が表彰されました。受賞おめでとうございます。



茨城県社会福祉事業団永年勤続表彰

医師局	師長	関根 ゆかり
つばき寮	寮長	菊田 健司
ばら寮	副寮長	藤枝 哲郎
あやめ寮西ファミリ	副寮長	會澤 光孝

茨城県知事表彰

管理課 栄養室	主任調理人	白田 寛
はぎ寮東ファミリ	専門員	渡辺 礼子
さつき寮西ファミリ	専門員	仲村 ひろみ

茨城県社会福祉協議会長表彰

ぼたん寮東ファミリ	副寮長	富田 千恵子
あざみ寮東ファミリ	副寮長	埴 卓也

全国社会福祉事業団協議会永年勤続者表彰

管理課	係長	高安 努
ぼたん寮東ファミリ	副寮長	富田 千恵子
庶務課	係長	宇佐美 健二

地域交流会

平成29年1月21日(土)、当法人の地域における公益的な取組の一環として、地域にお住いの障害を抱える方やそのご家族等を対象としてイベントを実施しました。内容としては、午前中に福祉相談会、午後には外部講師によるミュージック・ケアを行いました。



相談会では、福祉サービスの利用に関する相談があり、担当職員が対応しました。ミュージック・ケアでは、県立あすなろの郷内の療法訓練センターを会場に、歌いながら体を動かしたり、楽器等を使ったりリズム運動を行い、楽しい時間を過ごしました。



苦情受付

平成28年度に当事業団に寄せられた苦情については、今年度は0件(平成29年3月1日現在)でした。当事業団では、各事業所に苦情解決責任者、苦情受付担当者、また、本部事務局に第三者委員会を置き、苦情解決に取り組んでおります。

苦情受付及び解決状況については、苦情受付第三者委員会を開催し、第三者委員からの助言等をいただき、適切な解決に努めるとともに、更なる利用者への福祉サービス向上を目指してまいります。

# 新規採用職員

当事業団に新規採用された職員を紹介致します。  
これからどうぞよろしくお願ひ致します。

①所属・職種・氏名  
②アピールポイント  
(誰にも負けないと自負する自分の強み)  
③マイブーム  
④チャレンジ宣言  
(仕事・プライベート問わず)



①はぎ寮東ファミリー  
支援員  
黒川 和徳  
②落ち着いて行動ができること。  
③旅行  
④支援技術向上のための資格取得。



①あやめ寮東ファミリー  
支援員  
長尾 和輝  
②何事にも真面目に責任を持って取り組みます。  
③サッカー観戦(鹿島アントラーズが好きです)  
④向上心を持って、笑顔で支援していきたいと思ひます。



①さくら寮東ファミリー  
支援員  
鈴木 宏樹  
②目標に向かって頑張り続けること。  
③旅行先で写真を撮ることです。  
④趣味のバレーボールを継続し、健康的に過ごすことです。



①ふじ寮西ファミリー  
支援員  
加藤 美沙  
②何事にも一生懸命取り組みます。  
③アプリゲームや漫画が好きです。最近  
は下手ですがクラフトも作っています。  
④何か新しいことにチャレンジできたらいいなと思ひます。



①あやめ寮西ファミリー  
支援員  
石井 美香  
②前向きで、割と  
きれひ好きです。  
③人間観察  
④読書毎月1冊



①はぎ寮西ファミリー  
支援員  
大関 由佳  
②真面目に何事も  
一生懸命取り組み  
ます。  
③読書と音楽鑑賞  
④資格取得に励みたいです。



①さつき寮西ファミリー  
支援員  
大和田 純  
②笑顔と誰とでも  
良好な関係を築  
けること。  
③友人とお酒を飲みに行くことと  
スポーツ観戦  
④個人的なスキルアップと資格の取得



①さくら寮西ファミリー  
支援員  
宇佐美 有花  
②何事も前向きに  
受け止めるよう  
心がけています。  
③音楽鑑賞。ライブハウスやDJ  
イベントによく行きます。  
④次郎系ラーメン卒業！痩せる！



①病院医務局  
臨床検査技師  
五十嵐 貴志  
②ストレスを溜め  
込まないこと。  
③娘を写真・動画に撮り編集する  
こと。  
④新しい資格の取得にチャレンジ  
していきます。



①活動支援課  
支援員  
飯村 衣子  
②体力と努力  
③ひとり弾丸トラ  
ベル  
④社会福祉士養成課程卒業と国試  
合格



①つめ寮東ファミリー  
支援員  
鈴木 敬弘  
②何事も責任感  
を持ち意欲的に取り  
組みます。  
③ルアーフィッシング・アウトドア・自然浴  
④仕事では資格取得をめざし、プ  
ライベートでは真面目に遊ぶ。



①つばき寮東ファミリー  
支援員  
柳林 宏哉  
②責任感があるこ  
と。  
③ゲーム・麻雀・映画鑑賞  
④正職員になったからは様々な  
業務に取り組む。



①ゆり寮西ファミリー  
支援員  
吉田 剛  
②おほかで物事  
に対して柔軟な  
こと。  
③マイブームはDIYです。  
④利用者が楽しめる環境を作っ  
ていきたいです。



①病院医務局外来  
看護師  
菊池 麻里  
②何事もポジテ  
ィブに受け止める  
ように心がけています。  
③カフェめぐり・ゲーミング・猫  
④自分の課題をみつつけて知識を向  
上させていきたいです。



①ばら寮  
看護師  
大柿 陽一  
②これまでの経験を  
活かしていきたい。  
③特にありません。  
④未熟ではありますが、技術や知  
識を積み重ね、あすなるの郷で  
活かしていきたい。



①つめ寮西ファミリー  
支援員  
恵美 ひとみ  
②何事も一度自分  
の中に受け止め  
次に生かす。  
③ブルメリアを育てること。  
④今まで興味の無かったことで学ぶ機  
会と考えるチャレンジしていきたいです。



①つばき寮西ファミリー  
支援員  
國谷 一博  
②何事も最後まで  
努力するこ  
と。  
③マラソン、読書  
④好奇心をもってチャレンジしま  
す。



①ゆり寮東ファミリー  
支援員  
鈴木 康平  
②慎重であり臆病でも  
ある自分だからこそ、  
何事にも協調性を持って取り組みます。  
③ジョギング  
④勝田マラソン完走(最後まで走  
り抜くこと)



①ばら寮  
看護師  
大和田 優  
②冷静に考えて行動  
するタイプです。  
③読書、映画鑑賞。  
④今までの経験を活かしながら新  
しい事にも挑戦していきたいで  
す。

